

平成30年度 食育推進事業実施状況（平成30年11月末現在）
《基本目標》食べる力をみんなでアップ！ ～みんなでおいしく楽しく食べよう～

資料1

推進団体	ページ数
一般社団法人仙台市医師会	1
一般社団法人仙台歯科医師会	2
公益社団法人宮城県栄養士会	4
仙台市小学校長会	6
仙台市私立幼稚園連合会	8
仙台市保育所連合会	9
仙台市PTA協議会	10
仙台市食生活改善推進員協議会	11
宮城県生活協同組合連合会	13
みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)	19
日本チェーンストア協会東北支部	21
仙台農業協同組合	22
仙台白百合女子大学	23
宮城大学	25
仙台市市民局	26
仙台市子供未来局	27
仙台市環境局	32
仙台市経済局	33
仙台市教育局	36
仙台市健康福祉局・各区保健福祉センター，総合支所	39

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を実施する。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図る。	糖尿病精密検査 6/25~6/29 生活習慣病検査 9/3~9/6 貧血検査 8/28 ~10/13	糖尿病精密検査実績 39名 生活習慣病検査実績 209名 貧血検査実績 887名	仙台市医師会

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギーへの対応事業	保育士、栄養士、教諭等	・食物アレルギー対応の手引き(改訂版)を活用し、指導・助言を行う。	通年		仙台市医師会

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行う。また、支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導する。	通年	妊婦健診実績(～10月) 延べ 55,372名	仙台市医師会
2	乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診(2か月、4～5か月、8～9か月)、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施する。	通年	乳児健診実績(～10月) 14,317名 1.6、3歳児健診実績 (12/20時点) 1.6歳⇒5,710名 3歳 ⇒5,845名	仙台市医師会

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定健診・特定保健指導事業	一般市民	・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定(身体活動量・食事バランス)し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、引き続き登録医療機関で指導する。また、検査項目の一つ血清尿酸は、動脈硬化・脳卒中・心臓病・腎臓病の危険因子であり、肥満との関連性もあることから、各種疾病の早期発見・早期治療に引き続き努めたい。	平成30年6月～平成31年3月	特定健診実績 54,873名 *市国保 基礎健診実績 35,627名 動機づけ支援実績 476名	仙台市医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民向け冊子の配布	一般市民	・スマイル 食の大切さやより良い食事に関する啓発	通年	1,500冊配布	仙台歯科医師会
2	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・食に関する講演の実施 ・「目指せ!生涯楽しむ 健口生活」「生涯おいしく食べるために-要介護になってからの口腔ケア」 ・「健康長寿の食生活 お口の動きチェック&ケア」	6月9日(土)	800名	仙台歯科医師会

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ, 情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし, 幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校・幼稚園・保育 所での講話	児童・職員	・歯科校医, 園医, 嘱託医による講話などでの食事指導	通年	例年通り	仙台歯科医師会
2	支援学校での摂食指 導	児童・保護者 職員	・鶴谷特別支援学校, 県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	5月17日 7月12日 12月13日	前年同様	仙台歯科医師会
3	仙台市PTAフェス ティバルへの参加	児童・保護者	・健康的な食生活についての啓発	11月11日	1,100名	仙台歯科医師会
4	3歳児カリエスフ リー85プロジェク ト	乳幼児	・乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年	およそ450名	仙台歯科医師会

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について, 啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル, 低栄養予防についての知識を普及し, 食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	口腔機能低下症に関 する学術講演	歯科医師及び 関連職種	・オーラルフレイルに対応する「口腔機能低下症」に対する学術講演	平成31年2月9日 予定	日本歯科大学 菊谷 武教授	仙台歯科医師会

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する講演の実施 ・「目指せ！生涯楽しむ 健口生活」「生涯おいしく食べるために-要介護になってからの口腔ケア」 ・「健康長寿の食生活 お口の働きチェック&ケア」 	6月9日(土)	800名	仙台歯科医師会

取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口腔の健康づくり教室	園児	・若林区保健福祉センターと若林区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口の健康づくり教室」の実施。	平成31年1月24日予定	ちいさきはな幼稚園(若林区)	仙台歯科医師会
2	地域住民への啓発活動	一般市民	・各区民まつり等での食に対する啓発	10月21日 10月28日 11月4日	宮城野区、宮城総合支所、大和町、若林区 大盛況であった。	仙台歯科医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民,特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月9日	高齢者・子ども・その保護者 合わせて60名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月9日	高齢者・子ども・その保護者 合わせて60名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
2	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し、最新の健康・栄養情報を食事診断、健康・栄養相談、栄養講話等、実際の体験を通じて普及啓発	11月11日	ホテル法華倶楽部 293名参加 栄養相談・インボディ等計測 して指導	宮城県栄養士会
3	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を、調理実習も加えて普及・啓発する。 ①「伊達家の食文化」伊達泰宗氏（国際センター） ②「健康的な和食のススメ～ご飯の重要性を考える」東北大学農学部准教授都築毅先生（国際センター） ③「作り置き野菜レシピ」栄養士会理事（日立システムズホール仙台）	①8月26日 ②10月21日	①公開講座 仙台国際センター90名参加 ②健康・栄養講座（調理実習）11人	宮城県栄養士会
4	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	①医療機関での栄養指導 ②特定保健指導 ③市民センター、幼稚園、児童館、福祉協議会、支援センター等の栄養講話や、調理実習	通年		宮城県栄養士会
5	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談（げんき倶楽部「杜人」の質問回答など）や、食の情報提供など			宮城県栄養士会
6	仙台市介護予防月間	一般市民	・元気カアップフェスティバル	11月11日	宮城県庁内 30人参加	宮城県栄養士会
7	県民健康づくり公開講座	一般市民	・日常生活におけるナトリウム、カリウムバランス評価についての試み	11月11日	ホテル法華倶楽部 293名参加	宮城県栄養士会

平成30年度食育推進事業実施状況

(公社) 宮城県栄養士会

8	被災者支援事業	南三陸集約拠点8団地・復興公営住宅居住者	・被災された南三陸町の方々を対象に、看護協会活動に同道して健康相談	実施回数 31回 スタッフ全体会議 10回	145人	宮城県栄養士会
9	ルルブル親子スポーツフェスタ	一般市民	・ルルブル親子スポーツフェスタ	9月15日	70人	宮城県栄養士会 宮城県教育委員会
10	仙台市介護予防月間	一般市民	・共催市民センターにおける講話	11月8日 11月15日	八木山 富沢 150人	宮城県栄養士会 宮城県教育委員会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-4 学校での様々な活動において『食に関する指導』を充実させます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の作成及び見直し	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 「食に関する指導の手引き」をもとに、「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の見直しを行い、各教科や特別活動及び学校の教育活動全般において食育を推進する。 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための教育活動を工夫し、実践する。 	通年 各学校において適宜指導を振り返り計画の見直しを図る。 教育活動全般での食育推進を目指す。	児童・生徒の実態や地域の特徴を生かした食育に関する指導を年間指導計画に位置付け、実践し見直しを図りながら推進している。	小・中学校教育局
2	給食の時間における食に関する指導の充実	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 給食時間をはじめ、食に関連する教科・諸行事等において、各学級担任を中心に、栄養教諭・学校栄養職員の参画にて食に関する指導を行う。 「食育の日」、「食育月間」の普及・啓発を行う。 仙台産など、地元の農産物を活用した給食で、食育を推進する。 	通年 指導計画を基に、児童・生徒の実態に応じた食育を推進する。	学級担任の協力をいただきながら、栄養教諭や学校栄養職員が、一年間継続して指導を行ってきた。	小・中学校教育局
3	「給食週間」	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 児童、生徒を中心に内容を工夫して、給食に感謝する催しを開催する。 	1月 児童・生徒の主体性を大切に各学校の特色を生かして行う。	各校において、児童会や生徒会を活用して実施してきた。例えば、リクエスト給食、給食の標語やポスター、調理員さん方への感謝の手紙、給食ができるまでの紙芝居など。	小・中学校教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等		担当主体・局
1	献立表や給食だよりによる啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 献立表や給食だよりなどを通じた食育活動の周知をする。 食物アレルギーへの対応について周知する。 	月ごとに実施	毎月の献立表や給食だよりを発行し、食育に関する内容について児童・生徒、保護者に啓発を行っている。食物アレルギー対応では「5重のチェック」を行っている。	小・中学校教育局
2	「望ましい食習慣形成」の呼びかけ	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会や給食試食会、PTA行事などを利用して、望ましい食習慣の形成、食を通じたコミュニケーションの促進を図る。 	通年 養護教諭と共に健康教育の一環として実施	各校において、保護者の協力を得て、食を含めた生活習慣全般の改善に係る取組を行っている。	小・中学校 仙台市PTA協議会 教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等		担当主体・局	
1	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取り組みとして、研究主題「食を大切にする心をはぐくみ、健全な心身を培う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。	通年 仙台市を7つの地区に分け、それぞれがテーマを設けて実践する。		2月の全体会にて各地区の研究について発表会を予定している。口頭発表と紙上発表を隔年で実施し、研究集録として冊子にまとめている。	小学校 (仙台市小学校教育研究会学校給食部会)
2	学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会において、講演会や調理実習、施設見学などの研修を行い、資質向上をはかる。	通年 年間の研修計画を立て、定期的に研修会を開催する。		古川農業試験場や阿部笹かま工場の施設見学を実施した。講師を依頼し、アンガーマネジメント研修を実施した。	小・中学校 (仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会)

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食試食会と食事のバランスについての講座	園児・未就園児の保護者	・仙台市私立幼稚園連合会の各地区研修部、推進委員を通して働きかけ、各園の状況に合わせて実施 ・食に関心を持つ（食材の工夫、栄養のバランス、調理の仕方）	通年 ①給食試食会1回 ②離乳食・幼児食講座	①90名 ②6/8（3組）8/3（15組）11/9（5組）子育て支援で栄養士の講話と試食	幼稚園 私立幼稚園連合会

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食べることが楽しくなる食育	教諭・職員	・各地区毎の研修会において、食育推進計画の主旨、内容を伝え、今まで各園で実施してきた活動の見直しや、他の園はどんなことをやっているのか、情報交換の場を設ける	7月26日（木）	「食育ってなあに」 ・幼稚園教諭160名参加 ①話題提供3園 ②講話 講師：仙台市食育推進会議仙台市担当 浅野氏	幼稚園 私立幼稚園連合会
2	仙私幼通信に掲載	仙台市私立幼稚園連合会会員園	・仙台市私立幼稚園連合会会報誌「仙私幼通信」に、食育推進会議に出席するという内容で、仙台市の食育推進の現状等を報告	仙市幼通信108号 4月配布	幼稚園教職員1,800部配布	私立幼稚園連合会

取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食べることが楽しくなる食育	園児と保護者	・おいしいと感じること、体験することを重視し、また、食育情報として子どもの様子を知らせたり、食のマナーについて伝えていく ・くりこま高原ファーム加藤氏のもみがらかまどで新米を炊き、出来上がったご飯を自分で握って食べる体験をする。	11月2日	全園児教職員150名 「出来上がったご飯で自分でおにぎりを作って食べた。未満児は給食室で握ってもらったものを食べた。」	幼稚園 私立幼稚園連合会
		園児	・作物を栽培、収穫し食べる体験 ○園内の畑で、ジャガイモ、サツマイモ、大根、二十日大根、パプリカ、オクラ、トマト、きゅうりなどを栽培・収穫し自宅に持ち帰って食べる体験。	年5回	年少、年中、年長100名 5回で延べ人数500名	
2	偏食を減らすための取り組み	園児	・食材の成り立ち・旬・栄養素についてなど知ることで食事に対して関心が深まるようにする。 ・意欲的に食事を知るようになるにはどうすればいいか探る	5月31日	年長35名が参加 牛乳について学び、牛乳からバターを作って食べる体験をする。（協力：メグミルク）	幼稚園 私立幼稚園連合会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。 	通年	連合会給食会研究委員会で活動中 年度末にレシピ集を配布予定	保育所 保育所連合会 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する ・保育所連合会栄養士研修で食物アレルギーへの理解を深め、施設での実践につなげる。 	通年 10月16日 1回	講話 175名	保育所 保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習や講義の研修を通して、食育や乳幼児期の食事についての理解を深める。 	調理実習2回 8月22,23日 講話1回 8月3日	調理実習 2回実施 81名 講話 1回実施 89名	保育所 保育所連合会 子供未来局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・親子料理教室等の開催 ・給食試食会 ・栄養士さんの講話 ・ミニ菜園づくり など 	通年		仙台市PTA協議会

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域行事での食育	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・田植えや収穫などの農業体験活動 			仙台市PTA協議会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育の日(毎月19日)アピール	一般市民	・宮城地区まつりに参加して, 地産地消の野菜でカルシウムたっぷり(小エビ, スキムミルク)のおこのみ焼きを販売	10月28日(日)		仙台市食生活改善推進員協議会(宮城)

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し, 若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により, 若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え, 食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業	高校生	宮城広瀬高校フードデザイン科3年生を対象に, 「学生のための食活ガイド」テキストを使用して進める ・食を通じた健康づくりの実施 ・朝食の必要性と食事バランス ・調理実習	平成30年10月17日(水)	宮城県広瀬高校フードデザイン科3年生 39名	仙台市食生活改善推進員協議会(宮城)

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と, 健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて, 生活習慣病予防について学習する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活改善普及事業(肥満予防料理講習会)	幼稚園保護者	・簡単で野菜を多く取り入れた料理を普及し, 糖尿病などの生活習慣病予防のための食生活改善を促すための講習会を実施する	平成31年1月24日		仙台市食生活改善推進員協議会(秋保)
2	ヘルスメイトが「TUNAGU」(繋ぐ)パートナーシップ事業(第3弾)	一般市民	・地域と世代をつないで「減塩」と「野菜ワンプレート」の普及をテーマに, 料理講習会を実施する。 ・お隣さん, お向かいさんを訪問し, 塩分測定器「減塩くん」を使い, みそ汁の塩分チェックと野菜ワンプレートの普及に努める。	随時		仙台市食生活改善推進員協議会(宮城)
3	肥満予防講習会	一般市民	・「適正体重を維持しましょう(自分の適性体重をしりましょう, 週1回は体重を測定しましょう)の内容で講習会を実施	11月1回		仙台市食生活改善推進員協議会(秋保)
4	食生活改善普及事業(良い食生活をすすめるための料理講習会)	一般市民	(テーマ) ①骨とカルシウムについて ②食育について 等 実習献立(洋食コース): ①チーズボルペッティーニ②ヨーグルトマリネミント風味 ③パルテノティラミス	7月13日	13名 調理実習もレストランにでも行った気分になり大変良かった	仙台市食生活改善推進員協議会(秋保)
5	健康教室	食生活改善推進員(宮城)	栄養士による「バランスのよい食事について」の健康講話後, あやし地域包括支援センターの4名の方による筋力アップの運動の実施	平成30年実施なし		仙台市食生活改善推進員協議会(宮城)

取り組みの方向性 ①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	やさしい在宅介護食教室	食改員と地域住民	・やさしい在宅の介護食について、食改員が学びます。	平成31年1月9日(水)		仙台市食生活改善推進員協議会

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子の食育教室	児童と親	・食育の5つの力「①料理ができる力②食べ物の味がわかる力③元気なからだがわかる力④食べ物のいのちを感じる力⑤食べ物を選ぶ力」について、バイキングでお料理をバランス良くプレートで選び主食・主菜・副菜・牛乳・乳製品・果物の選ぶ力を勉強する。	平成31年2月予定		仙台市食生活改善推進員協議会(宮城)
2	親子の食育教室(川前児童館依頼)	子どもと親	・料理教室 川前児童館の子どもと親20組対象 はっと汁(郷土料理) (宮城食生活改善推進員会)	今年度予定なし		仙台市食生活改善推進員協議会(宮城)

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生涯骨太クッキング教室	地域の住民	・「生涯骨太」講話と乳製品を使った調理実習 メニュー (主食) 桜海老の炊き込みごはん(主菜) 鮭と大根の和風スープ(副菜) 豆腐と野菜のチーズチャンプルー(デザート) パインのアップサイドダウンケーキ	2月 1回		仙台市食生活改善推進員協議会(秋保)

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	健康のつどいででの普及啓発	一般市民	・地域の各団体との共催事業である「健康のつどい」の会場において、郷土料理や地域の食材を紹介するブースを設置 献立：①ブロッコリーのカレーマリネ ②ミルクくずもち	11月16日	試食提供 114名 健康のつどい20回ということもあって、1日350gの野菜を展示。試食を行い大変好評でした。	仙台市食生活改善推進員協議会(秋保) 秋保総合支所

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	・店舗で「しっかり朝食フェア」を実施し朝食をとる大切さをお知らせする。	4月, 8月, 1月。年3回	4月, 8月に店舗セールチラシで朝食の提案を行いました。	宮城県生活協同組合連合会(みやぎ生協)

具体的な取り組み ①-A-3 キャンペーンやコンテストなどにより, 市民の食育活動への参加を促します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	あいごはんアイデア募集	組合員	組合員から寄せられたあいごらんど商品を使ったアイデアを募集し, ホームページで紹介する。	通年	2018年12月時点の掲載数244件。	宮城県生活協同組合連合会(あいこーぷみやぎ)

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり, 自主的な食育活動につなげます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	タイ産ほうれん草産地視察	大学生	・東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生が集まり, 大学生協の食育推進について検討。原産地を訪問。	2019年2月に参加		宮城県生活協同組合連合会(大学生協)

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し, 若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により, 若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え, 食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ミールプラン推進	大学生	・食堂利用定期券「ミールカード」により, 「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する。	利用は年間。プラン作成, 販促は下期より		宮城県生活協同組合連合会(大学生協)

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	サルコペニア・フレイル予防の啓発・情報提供	一般市民	広報誌「ラクミー」（発行部数20万部）の4月号～6月号に宮城大学食産業学群フードマネジメント学類 准教授 白川 愛子さん執筆の記事を掲載。「サルコペニア」「フレイル」「サルコペニア・フレイルの予防」についてお知らせしました。	4月・5月・6月号に3回掲載。	なし。 (今年度は糖質制限の学習会としたため、サルコペニア・フレイル予防に関してはなし。)	宮城県生活協同組合連合会

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活提案の展開	一般市民	みやぎ生協は「食」をだいに健康づくりをすすめます。食生活提案をすすめる4つの基本テーマに沿った「みやぎ生協の食生活提案」を広めます。実践として、「日本型食生活の料理教室」を実施します。	10月～12月に県内6カ所で、食べるたいせつ料理教室「1時間でパパッとおせち作っちゃおう！」を開催。	10月～12月に仙台市、気仙沼市、石巻市、白石市、岩沼市、登米市県内6カ所で、食べるたいせつ料理教室「1時間でパパッとおせち作っちゃおう！」を開催。129人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食育活動委員会の活動	一般市民	・食育に興味のあるメンバーが登録 ・みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら、「食べる・たいせつセミナー」や「5A DAY食育体験ツアー」の運営を行う	年間10回	メンバー19人が登録。12月末まで8回終了。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	・食育NPOおむすび、株式会社仙台水産と共催し、「お魚がきっと好きになる料理教室」「大人のお魚教室」を開催。宮城の旬の魚介類を素材に、調理や学習の援助を実施。	お魚がきっと好きになる料理教室3回・大人のお魚教室4回開催	お魚がきっと好きになる料理教室2回終了。親子22組47人参加。大人のおさかな教室は3回終了し参加人数は53人でした。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいづらんど商品」をはじめとしたあいコープの食材を活用した試食会、料理教室を開催する。テーマ食材の生産者にも参加していただき、食の現場に学ぶ。	年10回	9回実施、延べ172名参加。（12月末現在）1月に1回予定	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	5A DAY食育体験ツアー	小学生	・2005年から実施している「5A DAY食育体験ツアー」は、店舗の集会室を活用して食育の授業を行うもので、今年度も継続開催する	5月～1月に仙台市内の小学校13校で開催。	仙台市内の小学校12校、生協の店舗で31回開催し975人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	日本型食生活提案	一般市民	たべるたいせつ料理教室で、日本型食生活についてパワーポイントを使用して学習。	仙台市内では、10月にウィズで開催。	メンバー27人が学習しました	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場商品の普及活動の実施	一般市民	・毎月第一土曜日の「地産地消の日」に、「お米の日」として米生産者による試食推奨活動、商品のPRを行う。毎月15日に「めぐみ野」（産直品）の普及活動の日に設定し普及活動に取り組んでいます。	第1土曜日に「めぐみ野」米の普及活動、毎月15日にめぐみ野品（地場商品）の普及活動を実施。	普及の活動は112回550人が参加しています。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食のかたりべ活動	一般市民	・食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う	4月～10月、食のかたりべ養成講座（4回）及び産地研修会（1回）に参加。かたりべ活動を行う。	4月～11月、食のかたりべ養成講座（4回）及び産地研修会（1回）に参加して、メンバーのつどい会場などでかたりべ活動を行いました。（現在集約中）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	食育体験ツールの提案	一般市民	・野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の紙芝居を提案。食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み31・海の恵み38選」を、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる	今までに作成したツールを継続活用する	継続活用しているが回数・人数は不明	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	産地見学会	一般市民	・生産現場の見学を行い、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する	4月～12月、産地見学会の実施。	生産現場の見学を行い（志津川漁協、JAみどりの、JAみやぎ仙南、JAいしのまき、柳生産直会、和雄と一郎農場、鳴子上原酪農組合等）、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する。産地見学会2018年度4月～12月で57回開催。参加人数、2,113人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や農薬について生産者や専門家の話を聞き自分たちの食生活をみなおす。	講演会2回 学習会10回	全体企画で講演会3回、映画上映会1回、委員会企画で学習会を6回実施。延べ520名参加。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
3	生産者訪問	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。	原木椎茸産地見学（宮城） ながめやま牧場見学（山形） 夏 米沢郷牧場生き物調査（山形） 秋 やっぺしりんご見学（山形）	原木椎茸産地見学ツアー（宮城）20名 ながめやま牧場見学（山形）66名 米沢郷牧場たんぼの生き物観察会（山形）18名 やっぺしりんご園地見学（山形）	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
4	地区委員会と地場生産者のタイアップ交流	組合員	・10地区委員会がそれぞれ地場生産者の中からタイアップ先を決め、一年を通して農作業体験を通して交流と学習の活動を行う。 ・秋保の圃場で、小豆の種まきから収穫、種別や加工を生産者と共に作業し種子について学ぶ。	通年	【産地交流】10地区委員会 が2グループに分かれ、秋保・七郷・大郷の産直産地との作業体験も交えた交流を行い、その様子を産地交流ニュースにまとめ2回発行した。11月のWa!わぁ祭りでは生産者とのコラボ企画を展開した。 【たねまきプロジェクト】 14名が登録し秋保の生産者のサポートのもとで、小豆の播種から採種・選別までを体験した。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生協と生活者が一緒に稲を育てる	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> メンバーが家庭で稲を育てる。バケツ稲栽培コンテストを実施し、メンバー自身が自分で稲を育てる体験をする。 産地で春に田植え体験、田んぼの生き物調査、秋には稲刈り体験を実施 	バケツ稲の配布5月27日。バケツ稲栽培コンテスト10月14日開催。田んぼの学校は5月13日、6月17日、9月30日に開催。	21店舗でバケツ稲を配布し、メンバー自身が自分で稲を育てる取り組みに686家族が参加しました。めぐみ野たんの学校、田植え体験73人、田んぼの生き物調査92人が参加しました。（稲刈り体験は台風のため中止）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	J Aみやぎ仙南「めぐみ野」ねぎ収穫体験	メンバー家族	ねぎ圃場でねぎの抜き取りの収穫体験を行いながら生産者と交流	12月2日開催	ねぎの収穫体験は、63家族189人参加で実施しました。ねぎの収穫体験、DVDでのねぎ栽培の学習、ねぎの皮むき体験の他、豚汁、ねぎ焼きなども楽しみました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	農業体験の実施	組合員の親子	<ul style="list-style-type: none"> あいコープの交流田は、「えんのう」の皆さんに田植え、草取りをしてもらい、生産者に管理していただく。実りの秋には稲刈りをします。（田んぼに行こう企画） 年間登録のメンバーによりあいコープの体験圃場でさつまいも、落花生。秋大根の栽培を体験する。（畑に行こう企画） 	田んぼに行こう～年4回 畑に行こう～年8回	【田んぼにいこう】田植え・草取り・生き物調べ・稲刈りの4回開催し、延べ60家族147名が参加。 【畑に行こう】23家族75名が年間登録し、4月～11月月1回の活動を行い、ジャガイモ・さつまいも・大根・落花生を作付けし収穫まで体験した。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県産品を利用した商品開発を継続して行う 東北地方の震災復興と地域振興を目的に立ち上げた新ブランド「古今東北（ここんとうほく）」は東北6県からえりすぐりの食材、加工品など開発・発売。 	商品開発・販売の継続。	「古今東北」の開発・販売商品は12月現在150品目。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱④ 環境を意識した食の取り組みをすすめよう

取り組みの方向性 ④-A 食品ロス削減の取り組みをすすめ、市民の実践につなげます

具体的な取り組み ④-A-2 フードバンクの取り組みをすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	コープフードバンク	一般市民	お取引先の食品企業等から余剰食品の無償提供を受け、社会福祉に寄与する団体・組織等へ無償で提供することを通して、食品の無駄をなくすとともに、だれもが安心して暮らせる地域社会づくりをすすめる。	通年		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ⑤-B 食品表示の知識を普及し、食品の選択への活用をすすめます

具体的な取り組み ⑤-B-1 食品表示の知識を広く発信し、活用法を知る機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民	みやぎ生協も構成団体として参加している、消費者行政の充実強化をすすめる懇談会みやぎ主催で学習会開催。	11月30日、1回開催。	11月30日、「知らずに食べている？遺伝子組み換え食品～変わる遺伝子組み換え食品表示～」学習会を開催。113人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「羊放牧」「豆腐」「ミョウガタケ」「有機野菜」をテーマに開催した。	2018年4月、5月、6月、11月の4回	延べ114名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「羊放牧」「豆腐」「ミョウガタケ」「有機野菜」をテーマに開催した。	2018年4月、5月、6月、11月の4回	延べ114名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「羊放牧」「豆腐」「ミョウガタケ」「有機野菜」をテーマに開催した。	2018年4月、5月、6月、11月の4回	延べ114名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「羊放牧」「豆腐」「ミョウガタケ」「有機野菜」をテーマに開催した。	2018年4月、5月、6月、11月の4回	延べ114名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「羊放牧」「豆腐」「ミョウガタケ」「有機野菜」をテーマに開催した。	2018年4月、5月、6月、11月の4回	延べ114名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
2	オーガニック・ウィーク・センダイ2018	生産者・一般市民・流通加工業者・販売者など	共通のロゴ・のぼり旗を使って、宮城県内で「オーガニック」や「有機」といった言葉を広めるためのキャンペーンを実施。WEBで生産者・販売者マップ、イベントカレンダーなどを作成。情報を集約し、Facebookなどで広報。「有機」に関して本格的な知識の得られるセミナー、有機農家の直売会や講演が開催された。	2018年11月3日～11月11日	期間中の関連イベント合計で、延べ1,300名以上の参加者	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「羊放牧」「豆腐」「ミョウガタケ」「有機野菜」をテーマに開催した。	2018年4月、5月、6月、11月の4回	延べ114名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
2	ネオニコチノイド系農薬の危険性を広める紙芝居の上演	一般市民	強い効果で、且つ長期間にわたり影響を与え続けるネオニコチノイド系の危険性を分かりやすく伝える紙芝居を2冊作製した。農薬の特徴や生態系への影響などをイベント等で、ブース展示などと併せ上演する。ネオニコチノイド系農薬の危険性について認知度向上を図る。	9月1日、9月4日、10月7日、12月10日	延べ100名程度への上演を実施。	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの啓発活動	一般市民	・ホームページを活用した食情報の提供 ・情報誌・レシピの提供			日本チェーンストア協会東北支部

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者, スーパーマーケット, 飲食店, ホテル, 旅館等との連携により, 食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの啓発活動《①-A-1再掲》	一般市民	・ホームページを活用した食情報の提供 ・情報誌・レシピの提供			日本チェーンストア協会東北支部

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で, 様々な年代が, 体験を通して, 健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットツアー	小学生	・小学生を対象に野菜の大切さを中心とした体験学習の実施	11月 2回		日本チェーンストア協会東北支部

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流, 体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり, 広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの地産地消の取り組み	一般市民	・県産農産物, 加工品を活用した商品開発, 販売による地産地消の推進			日本チェーンストア協会東北支部

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	J A仙台食農教育プラン「2013」の実践	小・中学生	〇まるっと給食とここで給食と題して各校に地元野菜を供給する。まるっと給食はできる限りその日のメニューをさまざまな種類の仙台産の野菜を使って給食を作る。ここで給食は仙台産の野菜を1種類その日の給食に取り入れる。	11月から1月 冬野菜186校を対象	実施中	仙台農業協同組合 仙台市

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	J A仙台食農教育プラン あぐり塾の開催	一般市民	〇あぐり塾第7期生と題し、募集したところ23名の一般市民が集まった。あぐり塾生は1年を通し、稲作・野菜栽培・果樹（りんご）摘果収穫・繁殖牛体験・しいたけ植菌作業・座学講習等を受講する。 ◆稲作：田植え・生き物調査・稲刈り・新米試食会等 ◆野菜栽培：トマトとピーマンの苗を配布 ◆果樹：摘果作業と収穫作業 ◆しいたけ：植菌作業 ◆その他：施設見学・豆腐づくり	4月 開塾式 5月 田植え・野菜栽培 6月 りんご摘果・里芋定植 7月 田んぼの除草作業・生育観察 8月 野菜収穫 9月 稲刈り 10月 豆腐づくり・新米試食 11月 りんご収穫・搾乳 12月 野菜収穫調整	23名参加	仙台農業協同組合
2	J A仙台食農教育プラン 学童農園	小学生	〇農作業体験（地区青年部が主体となって実施） ◆田植え 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小 ◆生きもの調査 新田小 ◆だいこん種まき 白百合学園中等部 ◆稲刈り 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、生出小、大沢小 ◆じゃがいも播種・収穫 杉の子保育園	・田植え5月 ・生き物調査7月 ・稲刈り10月	予定通り	仙台農業協同組合
3	J A仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座	小学生	〇地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大豆使用） ◆今年度も募集し参加校を募ります。	・7月上旬に各市町村の教育委員会を通じ案内書を送付。11月頃から講座開始	実施中	仙台農業協同組合

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	みやぎ県民大学講座 「骨はからだの母親 一骨を元気にするた めにー」	一般市民	日本は高齢社会を迎え、これに伴い高齢者の間では運動器の障害も増加している。今日では骨、関節、軟骨、椎間板、そして筋肉や神経で形成される運動器のいずれかに障害が起こり、立ったり歩いたりといった機能が低下している状態のことを「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」（以下、ロコモ）ということばが登場した。運動器障害が徐々に進行すれば将来は介護が必要になるリスクが高まるといわれ、若い時からの運動と栄養をしっかりと摂ることが大切である。今回は運動器のひとつである筋肉に焦点を当てたロコモについての講座を開催した。	6月30日 第1回 10:00~12:30 第2回 13:00~15:00 7月8日 第3回 10:00~12:30 第4回 13:00~15:30	参加者30名(一般市民) ロコモとは何か、食事の大切さ、運動の重要性を知るきっかけとなり、健康的な生活をおくる一助となったようであった。	仙台白百合女子大学

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	正月料理における嗜好性と伝承性に関する実態調査【新規】	3大学学生 350名	29年から30年にかけて正月料理に関するアンケート調査を行った結果をまとめる	平成29年12月に正月料理における嗜好性や伝承性について、留め置き法によるアンケート調査を行った	質問項目は正月料理の嗜好性、手づくりの程度、雑煮・おせち料理22種の喫食状況・作り手・伝承の有無等についてである。正月料理で好まれるもの上位は「雑煮(68.6%)」「栗きんとん(51.1%)」「茶碗蒸(50.3%)」であった。一方嫌われるものは「数の子(30.8%)」「黒豆(22.0%)」「にしんの昆布巻き(25.7%)」であり、これらは余りがちなものとされていた。22種の料理では、8割以上が「雑煮」「餅料理」を家庭で作って喫食されており、その調理担当者は母親・祖母が中心で、正月料理として伝承したいと思いが強かった。	仙台白百合女子大学

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流, 体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり, 広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	育てよう、夏野菜。 夏野菜でクッキング 【新規】	女子大生	市民農園で実際に無農薬の夏野菜を育て野菜栽培の手法、自然の摂理や生態を知り、食と農とのかかわりや食材の地域性、野菜の調理性・栄養性等について学ぶ。	5月中旬から8月初旬	女子大生9名 夏野菜を無農薬栽培し収穫した後、その野菜を使用してピッツアを手づくりし、本来の味を味わい、旬の野菜を使うことの大切さを知ることができた	仙台白百合女子大学

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による, 情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地元野菜を取り入れた弁当の考案・販売	一般の方々	女子大生と(株)HONOKAとの協働事業を継続して展開。 女子大生が地元の野菜や魚介類を取り入れた弁当を考案し, 穂野かが作製した弁当販売を行う。レシピ作成にあたって適塩を考えと野菜不足解消の一助となるように地産地消を意識して旬の野菜を豊富に使用した。	H31年4月の販売を目標に計画・立案しHONOKAにて作製・販売を行った	女子大生9名 お花見弁当2種を4/14-23の期間限定で一般の方々に提供することができた。自分たちの立案した春の食材をふんだんに取り入れた弁当が市場に出るまでの企画を学ぶことができた。	仙台白百合女子大学

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	高校生に向けた食育の推進	高校生	高校2・3年生に対して, 食と健康についての食育の出前授業を実施した。	7月10日実施	高校2・3年生 24名	宮城大学食産業学群
2	大学生に向けた食育の推進	大学生	食育の授業や研究室ゼミを通して, 食に関する知識を提供して意識を高め, 学生が自身の食生活を見直し, 改善することを促す。	年5回, 月3回	おもに大学2年生 64名×5回, 3・4年生 9名×6回程度	宮城大学食産業学群
3	市民に向けた食育啓発活動	一般市民	食育に関する調査・研究の成果を活かし, 一般市民に講演を行い, 食育啓発活動を行っている。9月にみやぎ生協学習会で「糖質制限: 正しく学んで健康維持に役立てましょう」の講演を実施した。	9月4日実施	みやぎ生協組合員 約160名	みやぎ生活協同組合
4	教員に対する食の講習	幼稚園・保育園, 小・中・高校の教員	食育に関する教員免許更新講習会を実施し, 子どもに対して食の教育を実践していただくために役立つ知識や指導例等について, 紹介・説明した。	10月13日実施	幼稚園・保育園, 小・中・高校教諭 57名	宮城大学食産業学群

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり, 自主的な活動につなげます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	朝ごはんフェア	大学生	宮城大学のサークル@グリーンが, 森本素子先生の指導のもと, 大学の農場で栽培した野菜や, 寄付による食材を利用して, 大学の加工棟で学生が自主的にスープ, パンやサラダ等を作り, 無料で朝ごはんを提供した。	月1回, 4回実施	食事作り: 各回10名程度, 参加者: 各回100名程度	宮城大学食産業学群

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について, 啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル, 低栄養予防についての知識を普及し, 食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	サルコペニア・フレイル予防の啓発・情報提供	一般市民	みやぎ生協広報誌ラクミーのコラムにおいて, サルコペニア・フレイルの概念と予防について簡単に解説し, 予防の啓発と情報提供を行った。	4~6月, 月1回 (計3回)		みやぎ生活協同組合

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品に関する講座等の開催	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に, 食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	9月, 1回	9月開催, 1回 参加者数: 66名	市民局

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに, 正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	広報誌「ゆたかなくらし」の発行	一般市民	・消費生活に関連する様々な情報の提供。	年4回発行 5月, 8月, 11月, 2月 各9,000部発行	5月, 8月, 11月発行 2月発行予定 各9,000部発行	市民局
2	ホームページによる情報提供	一般市民	・食品表示に関する情報の提供。	随時	随時	市民局
3	消費生活センター内情報コーナーでの情報発信	一般市民	・行政機関や, 各種団体の啓発資料等を設置し, 情報提供の場とする。	随時	随時	市民局
4	食品に関する講座等の開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に, 食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	9月, 1回	9月開催, 1回 参加者数: 66名	市民局
5	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	・消費生活の知識を楽しく学ぶことができる消費者教育ウェブサイト「伊達学園」において, 幼児期から成人まで発達段階に応じた情報提供を行う。また, 学校における消費者教育をより一層支援することを目的とした小学校高学年向けのウェブサイト「授業でござる」では, お金の使い方や地産地消などの情報提供を行う。	随時	随時	市民局
		小・中学生	・子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を製作し, 市内の小中学校に配布。 ①めざせ! 買い物名人 (小学校高学年用リーフレット) ②めざせ! 賢い消費者 伊達なくらし入門 (中学生用副読本)	年1回 (3月予定)	年1回, 3月予定	

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ「くらしの情報『子育て』」での情報発信	一般市民	・妊娠中の食生活や, 離乳食, 幼児食などの情報を提供		子育てサポートブック「たのしねっと」に掲載している内容(妊娠中の食生活・離乳食・幼児食について)の情報発信を実施。	子供未来局

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ, 情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者, 地域の子育て家庭の保護者に, 健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	離乳食・幼児食講座, 試食会	地域の子育て家庭保護者	各保育所及び子育て支援センターでの離乳食講座, 幼児食講座の実施を通して, 子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	4月~11月 公立 22回	参加者 公立 582名	保育所 私立保育所(園) 認定こども園 子供未来局
2	献立表, 給食だより, 保育参観などでの働きかけ	保育所入所児童家庭	・保育所の給食だよりを通して, 給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し, 健康的な食習慣についての情報を発信する。	全保育所で毎月給食だよりを発行	入所児童全家庭対象	保育所 保育所連合会 子供未来局
3	親子調理活動	保育所入所児童と保護者	・保育参観や懇談会等で親子調理活動を実施し, 親子で食事作りを楽しみ, 家庭での食への興味や関心を深める。	4月~11月 公立 17回	参加者 公立 84名	保育所 私立保育所(園) 認定こども園 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて, 健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保護者への啓発	保育所入所児童の保護者	・給食だよりに食育活動報告を載せ, 保護者に周知する。 ・懇談会や給食試食会を実施する。	活動報告 公立 426回 懇談会等 公立 313回	懇談会等参加 公立 4,054名	保育所 私立保育所(園) 認定こども園 子供未来局
2	市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者, 市民	・食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。(子供未来局・教育局共催)	9月28日 1回	129名	子供未来局 教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・保育所連合会栄養士研修で乳幼児の発育・発達と食行動についての理解を深め、施設での実践につなげる。 ・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する。	10月16日 通年	175名	保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	・調理実習や講義の研修を通して、食育や乳幼児期の食事についての理解を深める。	調理実習 2回 8月 講義 1回 8月	81名 89名	保育所連合会 子供未来局
3	業務研修	保育士	・職場内で食育や食物アレルギーの研修を実施し、正しい知識を得るとともに職員間での共通理解を深め実践につなげる。	4月～11月 公立 32回	232名	保育所 私立保育所(園) 認定こども園 子供未来局
4	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する。			小・中学校 教育局
		保育所職員	・「エピペン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する。	4月～11月 6回	6か所 68名 運営支援課保健師による研修	保育所 子供未来局

具体的な取組 ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします。

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	母子健康手帳交付説明会、母親教室等での啓発	妊産婦 その家族	・妊娠中の食生活の確認と、家族を含めた健康的な食習慣についての啓発・相談・指導	各区・支所にて毎月1～2回 年間162回開催予定	母子健康手帳交付説明会：86回実施。624名参加。個別相談13名。 母親教室等：54回実施。1,350人参加。個別相談18名。	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
2	3～4か月児育児教室での啓発	乳児の保護者	・乳児の食生活についての資料配布、パネル展示等	年間226回開催予定	120回。3,959名参加。個別相談77名。	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
3	離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発(太白)	年間66回開催予定	64回 2,092名参加。個別相談277名。	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所

平成30年度食育推進事業実施状況

仙台市子供未来局

4	1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診における啓発	幼児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の健康的な食生活についての啓発と、個別相談 ・ 食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取について啓発（2歳6か月児歯科健診集団指導時：太白） 	1歳6か月児健康診査：214回予定 2歳6か月児歯科健康診査：213回予定 3歳児健康診査：216回予定	1歳6か月児健康診査：142回実施。5,745名来所。個別相談776名。 2歳6か月児歯科健康診査：147回実施。5,788名来所。個別相談437名。 3歳児健康診査：116回実施。4,470名来所。個別相談271名。	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
5	訪問相談	地域の子育て家庭保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域子育て家庭へ訪問し、乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う。 	4月～11月 6か所実施	103件	保育所 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民センター、児童館への出前講座	地域の子育て家庭保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館、市民センターで離乳食講座、幼児食講座を実施し（出前講座）、生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える。 	随時		保育所 子供未来局

取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-G-1 保育所の食育計画に基づき、日々の生活の中で子供たちへの食育を充実させます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所における食育の充実	保育所入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「仙台市保育所における食育の手引き」をもとに、各施設において「食育の計画」並びに「食育活動計画」の見直しを行い、保育の中での食育を推進する。 ・ 毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける。 ・ 各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。 	4月～11月 食育活動 公立 733回 朝食についての働きかけ 公立 102回	「年間食育計画」並びに「食育活動計画」は全保育所で作成、実施。 食育活動参加 公立 19,740名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	畑作りとその収穫物を利用した食事作り	保育所入所児童	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畑作りの年間計画をたてる。 ・ 子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。 ・ 収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。 	4月～11月 収穫した回数 公立 930回 収穫物を給食に取り入れた回数 公立 746回	畑づくりの計画 公立 37か所 収穫物を食した人数 公立 45,213名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	父親育児参加推進事業のびすく仙台「パパ'sクッキング」	乳幼児のいる父親	・父親が参加しやすい土日にガスサロンを会場に料理教室を開催	年2回開催 ①7月29日 ②12月2日		子供未来局

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所給食における食文化の継承	保育所入所児童	・給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。	4月～11月 行事食や伝統料理を給食に取り入れた回数 公立 362回	食した人数 公立 27,257名 保護者への啓発 公立 483回	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所給食における地場産物の活用推進	保育所入所児童と保護者	・地域の生産者との連携により、米や季節の野菜を給食のメニューに取り入れる。 また、生産者と児童が野菜や食材を通して交流を図り、流通について学んだり、感謝の気持ちを持つ。 ・保護者にも活動の様子を伝え、地元の食材に関心を持ってもらう。	4月～11月 給食に取り入れる各公立 19,264回 保護者へ働きかけ公立 53回	地元生産者から直接購入 公立 5か所	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	6月～11月	子供未来局 保育所給食食材サンプル検査 HP掲載 196件 保育所給食1食全体検査 HP掲載 168件	子供未来局 教育局

推進の柱④ 環境を意識した食の取り組みをすすめよう

取り組みの方向性 ④-A 食品ロス削減の取り組みをすすめ、市民の実践につなげます

具体的な取り組み ④-A-1 「モットイナイ」の精神で、食品を無駄なく使い、食品ロスや生ごみを減らす取り組みを応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	モットイナイキッチン	一般市民	食の3Rにつながるレシピ（普段は捨ててしまう食材の使用、生ごみを出さない調理の工夫など）投稿と、食に関する様々な知識（地産地消や伝統食文化など）を提供するウェブサイトを作成し、食品ロス削減に関する市民の気運醸成と食の大切さを再発見するきっかけづくりを進める。	通年（平成29年9月1日サイト公開	H30年度アクセス数 9,073件	環境局

具体的な取り組み ④-A-2 フードバンクの取り組みをすすめます
④-A-3 フードバンク、フードドライブの取り組みを市民に広く啓発し、食品ロス削減への気運を高めます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	フードバンク・フードドライブ	一般市民	環境関連イベント時に未使用食品等の回収事業を実施し、食品ロス削減に関する市民啓発を図るとともに、消費期限と賞味期限の違いなど食品に関する様々な情報を提供する。	年2回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・9月2日開催のエコフェスタで食品ロス削減啓発とフードドライブを実施。回収量約15kg。 ・秋のごみ減量キャンペーンとして各区役所やイベントでフードドライブを実施。期間中の回収量は約450kg。 	環境局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流，体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり，広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここちゃん）の普及	一般市民	・各種イベントでの「せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここちゃん）」の普及を図る。 ・ホームページでの啓発及び，生産者や販売者，飲食店へのマークの普及を図る。	随時	せんだい収穫まつり（11/10・11）等でPR	経済局
2	地産地消推進サポーター事業	一般市民	・地産地消推進サポーター新規募集 ・「おいしい仙台農産物（地産地消ガイドブック）」の配布や，ホームページ等を通じて，地産地消及び仙台市の農産物についての情報提供を行う	随時	サポーター数 ・消費者253名 ・生産者82名 ・販売店74店 ・飲食店71店	経済局
3	NHKテレビ もりすた！ もりすた！キッチン	一般市民	・仙台市中央卸売市場で取り扱う旬の食材と，その食材を生かした美味しい食べ方等を紹介する。	放送回数 37回		経済局
4	小学校，一般市民などの市場見学への対応	一般市民	・食品流通の仕組みと市場の役割について理解を深めてもらうため，一般市民や小学生親子に中央卸売市場内を見学してもらう ①一般見学 ②夏休み親子市場見学会 ③市場見学ツアー（旅行会社との共催）	実施回数 ①随時 ②8月（2回） ③7月21日	①25団体 389名 ②29組 74名 ③1グループ 17名	経済局 （事業主体： ②仙台おさかな普及協会 やさい・くだもの普及委員会 ③株式会社むすび）

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市旬の香り市	一般市民	仙台市内の生産農家が直売をする ①仙台市勾当台公園グリーンハウス勾当台前 ②せんだい農業園芸センターみどりの社	①4～11月（原則第2・第4水曜日開催） ②イベントに合わせて土日祝日開催	①延15回開催 4/11, 4/25, 5/9, 5/23, 6/13, 6/27, 7/11, 7/25, 8/1, 8/22, 9/13, 9/26, 10/9, 10/24, 11/7 ②延26回開催 4/28.29.30, 5/3.4.5.6, 5/26.27, 6/2.3, 6/9.10, 6/23.24, 9/15.16.17, 9/22.23.24, 10/6.7.8, 10/13.14	経済局

平成30年度食育推進事業実施状況

仙台市経済局

2	地産地消推進サポーター事業	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市内の生産現場や、直売所、農家レストラン等、地産地消に取り組む施設の見学を行う ・畑での播種や収穫体験等を通じて、生産者との交流及び生産現場への理解を深める機会の創出を図る 	5/23 播種体験① 7/25 収穫体験① 8/10 現場見学① 9/7 播種体験② 11/2 収穫体験② 11/21 現場見学②	5/23 (23名) 7/25 (20名) 8/10 (21名) 9/7 (20名) 11/2 (19名) 11/21 (21名)	経済局
3	地産地消講演会	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消をテーマにした講演会を開催し、仙台市内産農産物の消費拡大を図る ・せんだい収穫まつりと同時開催 	11/11開催	<ul style="list-style-type: none"> ・内容「地産地消に夢をのせて」（講師：恵泉女学園大学教授・藤田智氏） ・参加者数80人 	経済局
4	せんだい収穫まつり開催	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・せんだい農業園芸センターみどりの杜にて開催 ・生産者と消費者等の相互交流を図るためのイベント 	11/10・11開催	来場者数約12,000人 (昨年度比約400人増)	経済局

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	レクリエーション農園、学童農園設置促進事業	一般市民, 児童	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や子どもたちが「農」と触れあい、体験できる機会の充実を図るための各種農園設置への支援 (レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応) 	各農園4月～2月に2回以上農作業体験実施	学童農園79農園69校で実施 (中学校1, 小学校37, 幼稚園18園, 保育園13園)	経済局

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地産地消推進サポーター事業	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・直売やイベントを通して市内産農産物の販売、ホームページでの活動紹介で地産地消を推進する。 	随時		経済局
2	農食ビジネスモデル構築事業【新規】	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 生産者、流通事業者、飲食店等と連携し、生産地と消費地の近さを活かした流通モデルを構築することにより、枝豆をはじめとした地元の農産物の高付加価値化、消費拡大を図る。 	通年	仙台枝豆プロジェクト(枝豆のみ) 参加飲食店数：96店舗 参加量販店・直売所数：4店	経済局
3	エコファーマーの周知	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・せんだい農業園芸センターで開催の収穫まつりにエコファーマーPRコーナーを設置し、エコファーマーや環境にやさしい農業についてのPRを実施 	11/10・11開催	収穫まつり来場者数約12,000人	経済局

平成30年度食育推進事業実施状況

仙台市経済局

4	保育所等サンマ教室への協力	①保育所等入所児童 ②中学生	①おさかな普及協会が、保育所等に出向き、子供達が、魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、子供達にサンマの炭火焼を体験させる ②おさかな普及協会が、中学校に出向き、生徒達が魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、生徒達にサンマをおろしてつみれ汁を作ることや、サンマの炭火焼を体験させる	実施時期 10～11月 実施回数 20回 保育所等 2回 中学校 18回	①保育所等 350名 ②中学校 約680名	経済局 (事業主体：仙台おさかな普及協会)
5	生産者による出前授業への協力	小学生	小学校の授業の一環として、生産者が小学校に出向き、農産物等の生産・流通現場について直接子供たちに話をすることにより、食の大切さを伝える。 ①南高梅 ②青森りんご	①6月8日 ②11月1日	①小学生 80名 教諭 10名 保護者 20名 ②小学生 41名	経済局 (事業主体： ①梅愛隊 JA紀州 仙台中央青果卸売(株) ②東北地区青森りんごの会 仙台中央青果卸売(株) (株)宮果)

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	経済局分 検体数20(野菜0, 林産物20)	経済局分 H30年度分終了 検体数20(林産物20)	健康福祉局 経済局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食フェア	一般市民	・市役所食堂での給食メニュー提供及び資料展示	平成31年1月21～25日まで実施予定。資料展示は1階ギャラリーホール。		健康教育課 教育局

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ, 情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-3 学校において食生活調査を実施し, 調査結果を活用して健康教育を実施します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的施策の取組	小・中学生	・今後5年間にわたって取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし, 取り組んでいく。	平成29～31年度健康教育推進校として, 小・中学校3校を指定。また, 平成30～32年度健康教育推進校として, 小・中学校2校を指定。 健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」8月3日実施。	各校での取組実施及び連絡会での情報交換2回 健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」講演「スポーツにおける貧血の予防と改善～食習慣を見直す～」93名参加	小・中学校 教育局
2	健康実態調査	小・中・高校生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力, 食習慣についてその実態を把握し, 分析検討を加え, もって児童生徒の健康と体力の増進を図る。	5～7月実施。	小・中・高校生を対象に調査を実施し, 結果を集計中。	市立学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて, 健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者, 市民	・食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。(子供未来局・教育局共催)	9月28日実施。	参加者129名	子供未来局 教育局
2	市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者, 市民	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し, 保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「せんだいっ子健康セミナー」8月3日実施。(再掲)	健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」講演「スポーツにおける貧血の予防と改善～食習慣を見直す～」93名参加	教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する	5月9日実施。 通年。	事例紹介「新たな気付きを求めた事例の検討」 講演「食物アレルギーを有する児童生徒への対応」191名参加	小・中学校教育局
		保育所職員	・「エピペン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する			保育所 子供未来局
2	食育講演会	学校職員	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「せんだいっ子健康セミナー」8月3日実施。(再掲)	健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」講演「スポーツにおける貧血の予防と改善～食習慣を見直す～」93名参加	小・中学校教育局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子食育講座	小学生とその保護者	・子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として、栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う(各小学校の社会学級やPTA等に委託)	平成30年6月～平成31年1月 44校で実施予定	集計中(H31年2/8報告書 締切予定)	教育局

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	調理講習会in学校給食センター	小学生とその保護者	・学校給食センターの見学や調理実習を通じて、食の大切さについて学ぶ機会を提供	7月25日実施。	10組(23名)参加。「親子で作る夏野菜を使ったお昼ごはん」をテーマに実施。	教育局

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-2 学校給食を通じて行事食、郷土食を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	・給食の時間における食に関する年間指導に基づいて、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食だよりで紹介し、家庭における食育を促す。	各学校において、随時実施。		小・中学校教育局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	・6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行う。	6月実施。	単独調理校、学校給食センターにおける地場産物の活用状況について調査を実施。地場産物利用率27.3%	教育局

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページでの情報発信	一般市民	・学校、仙台市教育局委員会のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。	随時。		教育局

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	随時。	使用する食品の検査結果及び給食一食検査結果を随時発信	子供未来局 教育局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ食育のページでの発信	一般市民	・食育事業の紹介, 食育推進隊などの活動紹介, 関係機関等へのリンクなど, 情報を発信	通年	随時更新	健康福祉局
2	各区ホームページの食育のページでの情報提供	一般市民	・食育に関する事業のお知らせや実施状況 ・食で健康サポート店の紹介 ・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用, おすすめレシピ紹介, 関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
3	健康づくり情報コーナーの設置	一般市民	・食事バランスガイド, 食で健康サポート店, 健康づくりや生活習慣病予防の食生活等のパネル展示, レシピや資料配布	通年	各区・総合支所の庁舎内に設置	各区保健福祉センター 総合支所
4	食育月間事業 食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	一般市民	・市政だより, 区ホームページ, 庁内放送, パネル展, レシピの配布等による普及啓発 ・食育月間に, 児童館・児童センター, 大学・専門学校等にポスターや資料等の掲示。(泉区) ・6月実施の健康教育等にて食育について啓発グッズ配布(宮総) ・食育の日 窓口にて啓発ポケットティッシュ配布, 認知度を対面で調査(秋保)	6月 食育月間パネル展実施 9月 食生活改善普及運動 食育の日 毎月19日	・各区, 総合支所にてパネル展等開催, レシピ・啓発物配布 ・児童館, のびすくにポスター, チラシ提供(青葉, 泉) ・管内大学, 専門学校にポスター提供(泉) ・健康教育等で啓発資料配布(宮総)	各区保健福祉センター 総合支所
5	「食育の日」のぼり設置による啓発【新規】	地域住民	庁舎前・診療所前・地域の中心部国道沿いに「毎月19日は, 食育の日」～家族で食事のことを話しましょう～ののぼりを設置しPR	毎月15日～19日の5日間	のぼりを地域の3か所に毎月設置, うち馬場小学校に1回設置	秋保総合支所

具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発	子育て中の保護者	・第15回PTAフェスティバル2018にて, 生活習慣病予防コーナーを設置し, 「野菜を食べよう」をテーマに, 小中学生の親子に健康的な食事について情報発信した。 野菜クイズ, 野菜に関するパネル, フードモデル展示など	11月11日	コーナー参加者 300名	健康福祉局
2	子育てについてのイベント	子育て中の保護者とその子ども	・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信 郷土料理, 手作りおやつを紹介など	10月24日 会場: 七北田公園 体育館	延べ参加者数 大人: 176名 子供: 189名 計: 365名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-4 食育活動に取り組む市民のネットワークをつくり、活動についての情報を広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台食育推進隊」の登録推進と情報発信	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 「仙台食育推進隊」の募集、登録。また、活動状況や情報をホームページなどで市民に提供 食育サポーター交流会、研修会の実施 	通年 交流会6月15日	登録数 12団体・個人 交流会参加者数 24名	健康福祉局
2	食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	<ul style="list-style-type: none"> 食の講座や個人への普及啓発等のボランティア活動のための情報提供、助言 推進員育成の支援 3分会合同の地区リーダー研修会の実施 	5月 定期総会 10～11月 推進員育成講座（泉区） 2月 リーダー研修会	（泉）食でヘルスアップ講座実施（推進員養成講座） 10/30 8名参加 11/6 6名参加 （宮総）5/29 地区研修会：フレイルについて 18名参加 3地区合同研修会 2/1予定 （秋総） 5月 定期総会（9名） 6月 学習会（7名） 7月 良い食生活をすすめる会（会員5名）（住民7名） 9月 「健康のつどい」試作会（7名） 11月 「健康のつどい」試食提供（114名）	健康福祉局 泉区保健福祉センター 宮城総合支所 秋保総合支所
3	食育サポーター養成講座	食育に関心のある市民	<ul style="list-style-type: none"> 地域で活動する食育サポーターを養成する 今年度は、既存のグループ（もぐもぐ、La ta ta♪(ラッタッタ)、郷土料理つたえ隊)の追加メンバーを養成する。 	6・7月（2回）	参加者数 実4名 延5名 もぐもぐ1名、Latata2名、つたえ隊1名加入	宮城野区保健福祉センター
4	食育サポーターの活動支援	食育サポーター	①食育サポーターの研修 ②食育サポーターの活動の場の提供、紹介等	①1回（9月） ②随時	①参加者数 17名 ②定例会、地域での食育活動のグループ活動状況確認	宮城野区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学との連携による若い世代への食育推進事業「大学生の食育プロジェクト」	若い世代	<ul style="list-style-type: none"> 仙台白百合女子大学、宮城学院女子大学の協力により、学生自らが若い世代の食の課題を共有し、関心を高めるための取り組みを企画する、ワークショップを開催。メンバー 15名 成人式の「交流のひろば」での啓発活動 	ワークショップ：6回開催予定 成人式 1月13日	10～11月 3回開催 参加者数 延31名	健康福祉局

平成30年度食育推進事業実施状況

仙台市健康福祉局

2	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校 の学生	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター（NL）とホームページによる健康づくりの普及啓発 ・専門学校と連携し、健康教育や研修会等の実施 	NL：年2回発行 健康教育：随時	NL配布：29か所 （専門学校26、関係機関3）	青葉区保健福祉センター
			<ul style="list-style-type: none"> ・学校に訪問し、健康課題などを状況把握。 ・検診と食育推進の啓発リーフレットを作成し、配布。 	7～8月	6校啓発 啓発資料数 1440部	宮城野区保健福祉センター
		大学生等	<ul style="list-style-type: none"> ・東北工業大学の新生を対象に健康づくりの講話による啓発 ・企業等の新入社員を対象に健康づくりの講話による啓発 ・大学文化祭への参加による来所者への啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・講話6月14日 ・未定 ・大学祭10月13日 	健康講話 109名 大学祭 280名	太白区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-1 子供や家族の食習慣について、現状を把握します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	幼児の食生活状況の把握	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳児健康診査受診者	・幼児健診の問診票や健診結果のデータ等を集積し、食生活状況を把握する	通年	身長、体重、肥満度、問診項目、個別相談の結果等を、各区・総合支所で集計中	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児健診、離乳食教室、訪問栄養相談での把握	乳幼児の保護者	・問診票、アンケート、聞き取り等による食生活状況の把握	離乳食教室にて母親の食生活状況についてのアンケート実施（継続）	4回 42名から回答有	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	地域の子育て中の保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等 ・市民センターからの依頼により、おやつについての講話（秋保） 	随時受付	（集団指導） 実施回数：18回 参加人数：137名 （個別指導）延4名	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児食相談会	概ね1歳～1歳4か月児と保護者	・食育や幼児食についての個別相談会	5回	3回 16組	青葉区保健福祉センター
3	食育推進事業「運動と料理づくり講座」	乳幼児の保護者	・運動講座と調理実習、健康情報の提供	1回 10月	保護者3名 子4名	秋保総合支所
4	「モーベジ！レシピ」を活用した食育講座	若い世代 子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> ・「モーベジ！レシピ」等を活用した啓発活動 ・幼稚園保護者や児童館来所の親子を対象とした体験型食育講座の実施 	各種事業の場を活用 食育講座：依頼時	レシピ配布 556部 食育講座 児童館3回 22組	太白区保健福祉センター

平成30年度食育推進事業実施状況

仙台市健康福祉局

5	子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業【新規】	乳幼児とその保護者	児童館等の子育て支援施設と地域課題を共有し、解決のための教室等を一緒に企画し実施する。	児童館3館と連携教室は計12回開催	実施回数：9回 参加者数：116名	若林区保健福祉センター
---	----------------------------	-----------	---	-------------------	----------------------	-------------

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発《①-A-2再掲》	子育て中の保護者	・第15回PTAフェスティバル2018にて、生活習慣病予防コーナーを設置し、「野菜を食べよう」をテーマに、小中学生の親子に健康的な食事について情報発信した。 野菜クイズ、野菜に関するパネル、フードモデル展示など	11月11日	コーナー参加者 300名	健康福祉局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会	認可保育所、認定こども園、小規模保育事業施設、認可外保育施設、企業主導型保育実施施設、事業所内保育施設の食育担当者等	・講演『多職種連携による食育の推進に向けて～言いたいことがきちんと伝わる「伝え方のコツ」』（講師：コーチング専門会社 株式会社アライブ・ワン 後藤美香氏） ・情報交換（グループディスカッション） ・情報提供（食育推進計画について）	青葉区・宮総共催 7/26実施	33施設 39名 宮総管内は4施設参加	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	食育情報交換会	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者、訪問栄養相談員	食育や健康づくりに関する講演、事例紹介、情報交換	年1回	11/20 23名	若林区保健福祉センター
3	学校保健に関する懇談会	小中学校・高校の教職員	児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みに関する情報交換、連携方法の検討	年1回	7/30 14校 15名	若林区保健福祉センター
4	食育担当者情報交換会	保育所、幼稚園、学校の職員	・子どもの健康づくりに関する研修会、事例発表、情報交換等の開催	内容・時期 12/4	子どもの食と歯の健康づくり研修会	太白区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊産婦食生活相談	妊産婦 その家族	・来所による妊娠中の食生活についての個別相談	随時	0件	宮城野区保健福祉センター
2	母親教室同窓会（マーズクラブ）での啓発	母親教室卒業生（乳児の保護者）	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布 ・離乳食の始め方についての講話・個別相談	7回	5回 36名	青葉区保健福祉センター

平成30年度食育推進事業実施状況

仙台市健康福祉局

3	育児相談会 「まめっこの会」	1歳までの乳幼児と保護者	・講座 ・育児相談 ・育児の情報提供など	年6回	4回 栄養相談18件	青葉区保健福祉センター
4	歯ッピー教室(1歳児 歯科保健教室)にお ける啓発	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食生活についての啓発(集団指導)と個別相談	年6回(奇数月) 開催(定員20組× 6回)宮総	4回 38名	宮城総合支所
5	ママパパくらぶでの 啓発	妊婦	・妊娠中、出産後の身体を考えた食生活についての講話、資料配布	年8回	6回 51名(父3名含む) *母親教室として子供未来局 に計上しています	宮城総合支所
6	あかちゃんくらぶで の啓発	乳児の保護者	・乳児期の食事の進め方と家族の食生活について講話	年2回	1回 26名	宮城総合支所
7	1歳の歯みがき教室	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食習慣確立についての講話と相談	12回	8回実施 参加数:135組 個別:35組	泉区保健福祉センター
8	育児相談	乳幼児の保護者	・親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し、子供にあった対応についての確認をし、自信を持って食事づくりができるよう支援をする	12回(高砂保健センター、岩切保健センター各6回)	高砂4回 73件 岩切4回 60件	宮城野区保健福祉センター
				所内、六郷保健センター、七郷保健センターにて各12回	所内:76名 六郷:56名 七郷:62名	若林区保健福祉センター
				茂庭台 3回 東中田 4回 区役所 6回	2回 3人 2回 7人 4回 22人	太白区保健福祉センター
				6回 所内で偶数月に開催	4回実施 栄養相談45名	泉区保健福祉センター
9	育児相談 (幼児健診事後)	乳幼児の保護者	・1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室で、幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	3回 (1.6事後2回、 2.6と3.7事後1 回)	8月10件(1.6事後)	泉区保健福祉センター
10	訪問栄養指導事業	おもに妊産婦、乳幼児の保護者など	・家庭訪問により、生活実態に合った具体的な支援をする	通年	延件数 妊産婦:2件 乳幼児:420件 その他:0件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
11	食生活・栄養相談	乳幼児の保護者及び妊産婦	・電話、来所による栄養相談	通年、随時受付	妊産婦:21件 乳幼児:272件	各区保健福祉センター 総合支所

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	小学校と連携した健康教育	児童とその保護者	・小学校のフリー参観日に、児童の健康課題をふまえ、栄養のバランス、間食、生活リズム等についての講話を実施	6/30予定	6/30 川前小 児童81名、保護者20~30名（出入り自由）	宮城総合支所
2	児童館と連携した健康教育【新規】	児童	児童クラブを対象として、朝食の大切さやおやつの摂り方、栄養のバランス等健康的な食生活についての講座を実施	随時実施だが、夏休み等の長期休業時の実施を呼びかける	8/9 愛子児童館2~4年生22名「おやつの摂り方について」	宮城総合支所
3	保育所などと連携した健康教育	乳児の保護者	・保育所地域子育て支援センターとの連携による離乳食講座（調理実習）	11月	11/7実施 参加数13組	泉区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-B-10 食育関係機関、関係者の資質向上とネットワークづくりをすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	認可保育所、認定こども園、小規模保育事業施設、認可外保育施設、企業主導型保育実施施設、事業所内保育施設の食育担当者等	・講話 『多職種連携による食育の推進に向けて～言いたいことがきちんと伝わる「伝え方のコツ」』 (講師：コーチング専門会社 株式会社アライブ・ワン 後藤美香氏) ・情報交換（グループディスカッション） ・情報提供（食育推進計画について）	青葉区・宮総共催 7/26実施	33施設 39名 宮総管内は4施設参加	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	子育てネットワーク会議	保育所、幼稚園、児童館、市民センター、育児サークル、託児ボランティアグループ、社協等	・子育てネットワーク会議の中で食育の情報提供を行う	年2回 1回目（6月1日）	1回目 6/1 40機関52名 +保健福祉課職員17名従事	宮城総合支所
3	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者、訪問栄養相談員	食育や健康づくりに関する講演、事例紹介、情報交換	年1回	11/20 23名	若林区保健福祉センター

平成30年度食育推進事業実施状況

仙台市健康福祉局

4	食育担当者情報交換会《①-B-7再掲》	保育所、幼稚園、学校の職員	・子どもの健康づくりに関する研修会、事例発表、情報交換等の開催	内容・時期 12/4	子どもの食と歯の健康づくり研修会	太白区保健福祉センター
5	学校・保育所・地域栄養連絡会	小・中学校栄養教諭・栄養士、支所栄養指導員	・各ライフステージごとの食生活の課題を共有し、地域全体の食育の推進を図る。 ・健康のつどいにて各校・保育所の食育紹介	7月 11月	7月連絡会 6名 11月「健康のつどい」にて食育活動パネル展示 参加住民114名	秋保総合支所
6	地域子育て交流会	いずみ食育の輪、育児サークル、育児サロン、のびすく泉中央、泉区中央市民センター	・「子育て応援倶楽部いずみん」における食育活動支援と情報提供 いずみおやこフェスティバルにおける食育の情報発信《①-A-2再掲》	10月24日 会場：七北田公園体育館	延べ参加者数 大人：176名 子供：189名 計：365名	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代の健康づくり支援事業《①-A-5再掲》	専門学校 학생	・職員や学生に向けた健康情報（ニュースレター：NL）の発信 ・専門学校と連携し、健康教育や研修会等の実施	NL：年2回発行 健康教育：随時	NL配布：29か所 （専門学校26、関係機関3）	青葉区保健福祉センター
2	地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	小・中・高校生及び保護者	生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等をテーマにした健康教育	随時	実施回数：0件 参加者数：0名	宮城野区保健福祉センター
3	地域健康教育（宅配講座）	幼稚園・小・中・高校生及び保護者等	・生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等についての講話。	随時	実施なし	若林区保健福祉センター
4	地域健康教育（次世代の健康づくり推進）	幼稚園・小・中・高校生・大学生及び保護者等	「健康な食生活、歯と口の健康、防煙」等の内容を盛り込んだ総合的な健康教育の実施。	随時	地域と共に育む子どもの健康づくり講座 5回 243人 児童館 4回 小学校 1回	太白区保健福祉センター
5	大学生を対象とした食育	大学生等	①食育月間に合わせ、朝食についての資料を配布。 《①-A-1再掲》 ②大学祭等で食育のブースを設置し、食育体験の場を設置する。あわせて栄養相談、情報提供も行う。 （大学生生活協同組合との協働により実施予定）	①6月 ②10～11月	①大学・短大 4校 専門学校 4校 寄宿舍 1舎 ②10/20.10/21 延べ 163名参加 ※今年度生協祭りの実施なし	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	働き盛り世代の健康支援事業	児童と保護者	・市民センター，学校との連携による健康教育	随時	2回【減塩（だし）】 ・7/28 貝ヶ森市セ：7組15名 ・11/15 木町児：7名+中学生8名	青葉区保健福祉センター
2	健康情報の提供	タクシー事業者 理美容組合員	・職員や顧客向けの健康情報の提供（掲示物等）	情報提供（栄養関係） 4回 10月・11月・12月・2月	2回 タクシー：延べ10か所 理美容：延べ138か所 その他：延べ5か所	宮城野区保健福祉センター
3	職域と連携した生活習慣改善のための事業	働き盛りの男性	・生活習慣病予防のための健康づくり講座	随時	11/5 83名	若林区保健福祉センター
4	生活習慣改善に向けた事業	働き盛り世代	・事業所で働く方を対象とした生活習慣改善の出前講座の実施。 「健康的な食生活，歯と口の健康，防煙」の内容を盛り込み，総合的な健康教育を行う。	随時	未定	太白区保健福祉センター
5	働き盛り世代への食情報の発信	働き盛り世代	・消防団健康教育，スポーツレクリエーション大会時に情報提供 ・自営業者及び事業所の健康管理担当者からの情報把握と食情報の提供	9月・2月 随時	9月 消防団 64名	秋保総合支所
6	生活習慣改善啓発事業	働き盛り世代	・地域のスーパーマーケットとの連携による，体験型生活習慣病予防イベント	9月	イベント参加者 延べ244名 うち栄養相談 23件	泉区保健福祉センター
7	地域健康教育	働き盛り世代	・商工会等団体との連携により，健康教育の実施	随時	2回90名	泉区保健福祉センター
8	児童館などと連携した健康教育	乳幼児，小学生の保護者	・児童館を利用している乳幼児保護者に向けての減塩や健康的な食生活についての健康教育の実施 ・児童館健康教育での減塩についての資料配布	通年	今年度実施なし	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育 (出前健康教育, 出前講座, 宅配講座)	一般市民	・町内会, 地域事業所等での, 生活習慣病予防などをテーマにした健康教育	随時	(集団指導) 実施回数: 4回 参加者数: 114名 (個別指導) 0件	各区保健福祉センター 総合支所
2	生活習慣病予防のための健康相談会	一般市民	・イベント形式で血管年齢測定及び体力測定を実施し, 状況に合わせ, 食生活についてのアドバイスを行う	9月6日	9/6 36名(うち個別相談2名)	宮城総合支所
3	生活習慣改善講座	働き盛りの男性	・生活習慣病予防のための健康教室	2月予定		秋保総合支所

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定保健指導	特定保健指導対象者(積極的支援)	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	8月~	延64件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
2	基礎健診保健指導	基礎健診保健指導対象者	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	11月~	延7件	各区保健福祉センター 総合支所
3	生活習慣病予防教室	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための教室	3回	延べ 23名	青葉区保健福祉センター
4	健康づくり相談 基礎健康診査事後指導	健診受診者	・受診後の相談ができる場の提供 ・食習慣改善のための講座実施	年1回実施 相談は随時受付	1回 2名(健康相談は生活習慣病予防イベントと併せて実施)	宮城総合支所
5	ヘルスアップセミナー	健診結果で血糖が要指導等の者, 一般市民	生活習慣病予防のためのセミナー(医師講話・栄養講話・運動等)	医師講話 6/26 食生活講話 7/3 運動実技 7/10	6/26 41名 7/3 26名 7/10 21名 11/3 8名(フォローアップ)	若林区保健福祉センター
6	生活習慣病予防講座(健康づくり講座)	HbA1c要指導者 血圧またはLDL要指導者	・生活習慣病発症予防のための講座(健康づくり講座) HbA1c, 血圧またはLDLが高めの方を対象として医師講話, 食事, 運動の内容で実施予定	内容・時期 2月 予定		太白区保健福祉センター
7	あおば健康づくり講座	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	講座4回 相談12回	講座2回 34名 相談8回 14名	青葉区保健福祉センター

平成30年度食育推進事業実施状況

仙台市健康福祉局

8	健康づくり相談	一般市民	・健康づくりのための食生活相談	月1回(10・11・1・2月は月2回) 年間16回	10回 延べ17件	宮城野区保健福祉センター
9	健康生活講座	一般市民	・健康づくりのための食生活講話, 演習	9月・12月(2回)	実施回数1回 参加者数 延べ11名	宮城野区保健福祉センター
10	健康づくり講座, 相談	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と食生活に関する個別相談	講座5回, 相談10回	講座(3回): 7/5 40名 9/5 17名 11/21 33名 相談: 5名	若林区保健福祉センター
11	生活習慣改善相談	一般市民	・予約制の個別健康相談	通年	7回 23人	太白区保健福祉センター
12	健康づくり相談	一般市民	・相談とミニ講話による食生活や生活習慣改善のための支援	個別相談 月1回 開設 ミニ講話 2回	個別11名(8回) ミニ講話13名(1回)	泉区保健福祉センター
13	糖尿病予防啓発	一般市民	世界糖尿病デー啓発	11月 パネル展	パネル展1回 資料配布数 401	宮城野区保健福祉センター
14	生活習慣病予防啓発	一般市民	世界高血圧デーパネル展	5月	パネル展1回 資料配布数 597	宮城野区保健福祉センター
15	食生活・栄養相談	一般市民	・訪問, 電話, 来所による栄養相談	通年	訪問相談: 1件 電話, 来所での相談: 延112件	各区保健福祉センター 総合支所
16	被災者の食生活支援	仮設住宅等入居者→復興公営住宅等入居者	・復興公営住宅集会所, 中核支えあいセンター等での食生活相談 ・地域被災者健康相談等での講話, 食生活相談 ・訪問, 電話, 来所による食生活・栄養相談 ①健康応援団・サロンでの栄養講話や栄養相談 ②料理サロン ③訪問・電話・来所による栄養相談	随時 年3回の健康教室のうち1回を栄養・歯科講話として実施(9月21日)宮総	随時 講話・相談会2回開催 参加 9組	各区保健福祉センター 総合支所

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について, 啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル, 低栄養予防についての知識を普及し, 食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	高齢者の食生活に関する地域健康教育	一般市民(高齢者やその家族)	・町内会, 老人クラブ, 地区社会福祉協議会のサロン等を対象とした, 高齢者の栄養に関する健康教育	随時	(集団指導) 開催回数: 11回 参加者数: 延303名	各区保健福祉センター 総合支所

平成30年度食育推進事業実施状況

仙台市健康福祉局

2	食生活改善推進委員会における研修	宮城食生活改善推進委員会	・食生活改善推進委員会の研修会でフレイルや低栄養予防についての講話を行い、推進員を通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。	5月29日	5/29 18名	宮城総合支所
3	介護予防サポーター事業における健康教育	介護予防運動サポーター	・介護予防運動サポータースキルアップ研修会での、健康的な食生活についての講話 ・サポーターを通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。	若林 5月1回 太白 9月3回 泉 11月3回	(若林) 5/30 39名 (太白) 9月3回 延べ145人 (泉) 11/26 23名 11/29 52名 11/30 63名 (合計) 154名	若林区保健福祉センター 太白区保健福祉センター 泉区保健福祉センター
4	食生活・栄養相談	一般市民(高齢者やその家族)	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：延15件 電話・来所での相談：延71件	各区保健福祉センター 総合支所

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	各区ホームページの食育のページでの情報提供 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
2	健康づくり情報コーナーの設置 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりサポート店、生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	各区・総合支所の庁舎内に設置	各区保健福祉センター 総合支所
3	区民まつりや地域のまつり、イベントでの啓発普及	一般市民	・健康づくりブースでの啓発普及 ・食事バランスガイドの紹介、活用方法の普及など ・クイズや演習など、媒体を活用した展示等	通年 10月28日地区まつり来場者への啓発(宮総、秋総) 10・11月 4回 高砂・岩切・区中央市民C・みやぎの区民(宮城野)	実施回数：15回 参加者数：延3,373名 個別相談：延32件 (秋総) 体組成測定とアドバイス：44名	各区保健福祉センター 総合支所
4	健康増進普及月間事業	一般市民	・健康づくりに関する講演会 ・市政だより、ホームページ、庁内放送、パネル展、資料配布等による普及啓発 ・商業施設内で関連イベントを実施(泉区)	9月 パネル展の実施 9月 イベント実施予定(泉)	講演会：1回 参加者数38名 イベント：8回 参加者数1,195名 個別相談：23件	各区保健福祉センター 総合支所
5	常備菜レシピ作成事業【新規】	幼児から高齢者	・企画会議を開催し、常備菜のレシピ集を市民協働で作成し、普及啓発に活用する。 ・市民センターまつりにて、常備菜のレシピのパネル展示を行う。	実行委員会：年7回 市民センターまつり：10/27, 28	実行委員会：6回 モニター教室(調理実習)2回15名	青葉区保健福祉センター

平成30年度食育推進事業実施状況

仙台市健康福祉局

6	「我が家の食育の 日」レポート展示会 【新規】	地域住民	「健康のつどい」にて住民から募った行事食や、家庭料理、手伝い、家庭菜園などの絵 や写真にコメントを添えたA4レポート形式の展示	11月	73名提出（中学生51名、一 般22名）	秋保総合支所
7	被災者向け健康情報 紙の発行	仮設住宅居住 者等	・栄養・健康情報、レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を作成し、仮設住宅等 に配布する	年3回発行予定 (宮総) 年6回発行予定 (若林) 12月発行予定 (泉)	(宮総) 2回発行 延334部 (若林) 2回発行 延2,420 部	宮城総合支所 若林区、太白区、 泉区保健福祉セン ター

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局	
1	食で健康サポート店 推進事業	一般飲食店、 給食施設、食 料品等販売店 一般市民	・栄養成分表示、バランスメニュー、野菜たっぷりメニュー、塩エコ（塩分控えめ）メ ニューのいずれかを提供する店舗（食で健康サポート店）の登録を推進 ・登録店舗向けに、健康情報を発信 ・市政だよりにて食で健康サポート店を市民に周知、栄養成分表示等の活用方法などを 啓発（泉） ・庁舎内デジタルサイネージを利用し市民へ周知、登録店の紹介（青葉）	通年 3月（泉） 通年（青葉）	登録店舗数：67店舗 登録PR活動：98件	健康福祉局 各区保健福祉セン ター 総合支所

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	母と子の食育教室 (今日もバクバク元 気っくらぶ)	・食育講話とクッキングやクイズ等を組み合わせた体験型教室	2回 7・10月 児童館	参加者数 延べ17組	宮城野区保健福祉 センター

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局	
1	子供の食育講座	小学生	・児童館・児童センターと共催により、調理等の体験型の講座を通して、食事の大切 さ、食べる楽しさを学ぶ	6月22日、6月27 日実施	6/22 6組（母6名、子9 名） 6/27 28名	泉区保健福祉セン ター

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育月間、みやぎ地区まつりでの紹介	一般市民	・地域の食材を使用した料理の紹介 ・レシピ配布	6月食育月間中の健康教育、パネル展等にて配布	食育月間：健康教育・所内事業でのレシピ等の配布 96部 宮城地区まつりでの啓発グッズの配布 120	宮城総合支所
2	子育てについてのイベントでの情報発信	子育て中の保護者とその子ども	・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信《①-A-2再掲》 地域でとれる野菜を使った手作りおやつを紹介等	10月24日 会場：七北田公園体育館	延べ参加者数 大人：176名 子供：189名 計：365名	泉区保健福祉センター

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	たいはく朝市における野菜レシピの配布	一般市民	・4～12月の第2・第4日曜日に開催される「たいはく朝市」の来場者向けに、旬の野菜を使った料理のレシピ配布を検討する。	4月～12月	4月 20部配布	太白区保健福祉センター

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	174件実施 (各区保健福祉センター、食品監視センター、食肉衛生検査所)	健康福祉局 経済局 各区保健福祉センター
2	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民、食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館(詳細および概要版)5,500部、パンフレット3種計8,000部作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター 宮城総合支所
3	ホームページによる食品衛生情報の提供	一般市民、食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
4	食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	・食品の安全性に関する講演会の開催	H31年1月開催予定	平成31年1月16日(予定)	健康福祉局 各区保健福祉センター
5	食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	・市政出前講座(担当テーマ:安全・安心の食生活)における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	申し込みの都度	市政出前講座:3回,79名 市民向け食品衛生講習会:32回,486名	健康福祉局 各区保健福祉センター
6	食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	随時対応	健康福祉局 各区保健福祉センター
7	せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全サポーター	・せんだい食の安全サポーター会議における食品衛生情報の提供	年4回(予定)	3回実施 (第4回:平成31年3月実施予定)	健康福祉局 各区保健福祉センター
		せんだい食の安全情報アドバイザー	・食肉まつりにおける食品衛生普及啓発活動	H30年6月9日実施	アドバイザー4名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ⑤-A-2 食品の安全性確保のための監視指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食施設立入検査	特定給食施設 条例に基づく 給食施設	・健康増進法に基づく特定給食施設、条例に基づくその他の給食施設に対する、栄養管理、衛生管理指導	通年	特定給食施設：88施設 その他の給食施設：62施設	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	通年	6,073件	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ⑤-A-3 食品関係営業者に向けて食品の安全性に関する情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページによる食品衛生情報の提供 《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	食品等事業者	・ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	随時実施	63回, 4,365件	健康福祉局 各区保健福祉センター
3	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発 《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館（詳細及び概要版）5,500部、パンフレット3種計8,000部作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ⑤-A-4 食品関係営業者を対象に食品の安全性に関する講習を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	随時実施	78回, 2,468名	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品等事業経営者セミナーの開催	食品等事業者	・食品等事業経営者セミナーの開催	H30年11月実施	平成30年10月29日開催 89名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター

取り組みの方向性 ⑤-B 食品表示の知識を普及し，食品の選択への活用をすすめます

具体的な取り組み ⑤-B-1 食品表示の知識を広く発信し，活用法を知る機会をつくれます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品表示の知識普及，活用の推進	一般市民	健康教育，食育講座および健康づくりや食育に関するイベント等において食品表示について知識の普及啓発の実施	通年	出前講座，宅配講座等での啓発 5回 参加者数213名 イベントでの啓発 5回 参加者数260名	健康福祉局 各区保健福祉センター